



出会いを力に

副学長(大学改革等) 小野 義 隆



茨城大学に入学した皆さんにとって、桜花爛漫のなかでの晴れ晴れとした気持ちは、きっと忘れられない思い出となるでしょう。皆さんは、新しい学びの場で、今まで以上にたくさんの人々と出会い、これまでに接することのなかった様々な学習の領域を知ることによる大きな喜びと期待を抱いているのではないのでしょうか。今までとは異なる環境の中で出会う、自分とは違った考えや行動をする人たちに新鮮な共感をもつこともあるでしょう。いっばうで、違いに戸惑い、避けてしまうこともあるでしょう。新しい学習の中で初めて出会う自然現象にも、文学作品にも、絵画や音楽にも、その素晴らしさに素直に感動できることもあるでしょうし、ただわが分が分からずやり過ぎしてしまうこともあるでしょう。

これまで知らなかった人々や自然の事物や芸術作品などに会ったときの、私たち一人一人の反応はみな異なります。なぜかという、出会いは個人的なものなのです。一人一人のこれまでの生活や学習の中で身に付けてきた知識や感性によって、出会いが感動的なもので、自分自身の新たな力の創造につながることもありますし、そのようにならないこともあります。出会いは個人的なものですので、出会いを自分にとってどのように意味づけるかということについて、他の人と比較して良いとか悪いとかを言うことはできません。しかし、誰にも共通して言えるのは、自分の興味や関心にしがたって、ひたすら知識を蓄積し感性を磨くことによって、出会いを素晴らしいものとしてとらえ、自らの大きな力につなげることができるということではないでしょうか。

分野を問わず優れた研究者は出会いを力に成果を上げてきたと言ってよいでしょう。出会いは誰にも訪れるものですが、その出会いを重要なものと直感できる知識あるいは出会いに感動できる感性を十分に持ち合わせている人だけが、その出会いを力にすることができたのでしょう。多くの科学的発見をし、近代微生物学の礎を造り上げたパスツールは、1854年にリール大学での講演で「科学研究の領域では発見のチャンスは準備された者にだけ訪れる」との名言を残しています。パスツールは自然と人に誠実に臨み研究に没頭し、研ぎすまされた感性と体系だてた膨大な知識を持ち合わせていたから、偶然の出会いを偉大な発見にすることができたのでしょう。

パスツールのことばは自然科学にだけ適用できるというものではありません。どの分野の誰もが等しく出会い＝発見のチャンスを持っているはずで、それを力にすることができるか否かは、不断の学習を通じての知識の体系的な獲得と感性の磨きあげにかかっています。

ローザ・プルムラ
第40号
(平成22年度4月発行)

目次

出会いを力に.....	1
大学教育センター教員あいさつ.....	2
水戸キャンパス便利帖.....	4
小特集・「総合科目へようこそ」.....	6
お知らせ・学生の声.....	8

大学教育センター教員あいさつ

単位とは何か

森野 浩 センター長

皆さん、ご入学おめでとうございます。最初の履修ガイダンスで聞くキーフレーズの一つは「卒業に必要な単位は124単位(教育学部では125単位)以上である」という履修基準でしょう。単位は、ある科目について一定時間学習し、そしてその科目について一定の成績を取めたときに認められます。国の法律で45時間の学習で1単位と決められています。これを基準に大学4年間で必要な学習時間を通常の講義で大ざっぱに計算してみましょう。124単位を4年間で均等に学習するとすれば、1年間に31単位、そのために必要な学習時間は1395時間、1年の学習期間を30週とすれば毎週46.5時間、一週を5日とすると毎日9.3時間、の学習が必要となります。さてこれはあくまで一つの思考実験です。実際には、単位制度の運用は弾力的になっています。1単位の学習は15時間の大学での講義と30時間の予習・復習時間(自習学習)となっていますので、大学の講義で拘束される実時間は上の計算の三分の一となります。また、90分の授業を2時間として計算します。これは、自主的な学習の推奨や、講義の教育効果を考慮した運用制度といえます。

もともと全ての科目が必修であれば単位制度の必要はありません。履修科目の選択を可能にした代わりに一定の基準を設ける必要がでてきて、単位制度が取り入れられたということです。このように大学の制度は自由な学習を保証するために設けられていることが多いのです。

大学へようこそ

佐藤和夫 副センター長(企画実施部長)

本意であったにせよ、不本意であったにせよ、入学したばかりの大学は勝手がよくわからず、どきどき、冷や冷や、感心したり、あきれたり、しかし退屈はしない。あれこれ何とか乗り切っているうちにやがて黄金週間を迎える。ほっと一息。だがこれがくせ者だ。はじめの新鮮な気持ちは失せ、それは二度と戻ってこない。それまでの「あばたも笑顔」が「笑顔もあばた」になってくる。これからが本当の大学生活が始まる。単位の定義、準備に2時間、講義2時間(実際は90分を2時間にみなしている)、後片付けに2時間、これで2単位だ。でも好きな科目ならそんなものなどどうということはない。趣味や好きな運動ならなおさらだ。でも過剰なアルバイトや睡眠不足、暴飲暴食は大学生活の大敵。6月の高温多湿でへばってしまう。「授業数は前期と後期にバランスよく分けて受講しましょう」と言われたような気がする。だが先は長い。前期は8月の初めまでである(日立キャンパスは今年に限っ

て例外)。教室のエアコンのありがたさよ。期末試験、レポート作成。ここまで来れば、もう立派な大学生。後七つの学期をこなせば、卒業だ。

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。茨城大学へようこそ。快眠快食で元気にキャンパスライフを楽しみ、充実した日々を送ってください。そして十分な成果を上げますように。

大学生生活にチャレンジ!

勝本 真 副センター長(教育点検支援部長)

入学おめでとうございます。

茨城大学は、皆さんの目にはどのように映りましたか?近年、施設改修が進められ、新しい茨城大学の姿が完成されつつあります。このような環境の中で、みなさんは今までとは違った学生生活をスタートさせることとなります。入学直後に、カリキュラムの中から自分に合った授業設計・履修申請など、責任を持って作業を進めなければいけません。特に1・2年生の間は、大学教育センターが中心として行っている「教養教育」を多く受講することとなります。

「教養教育」は、各学部の専門教育に入る前に、幅広い教養を身に付けるために設定された内容であり、様々な授業科目を開設しています。また年々改善を加えながら、日々の変化に対応できるようにしています。

さてこのような環境の中で、充実した楽しい大学生活を送るために必要なものは何でしょうか?知識、友人、健康、体力、思いやり、旅行、バイト…、挙げたらきりがありません。でも4年後には、社会人として第一歩を踏み出すことになるわけですが、その準備期間としては本当に短い時間です。最近の学生は、失敗を避ける意識が強く、難しいことにチャレンジすることが少ないような気がします。二度と戻ってこない時間ですから、悔いを残さないためにも思いっきりチャレンジしましょう!

それでも不安になることも多いと思いますが、その時には「保健管理センター」や「何でも相談室」を活用してください。?

茨城大学新入生の皆さんへ

岡山陽子(企画実施部(総合英語 Level 4))

茨城大学へのご入学おめでとうございます。

「さあ、これからのんびりしよう」と思っている人もいるかもしれませんが、実は、1年生の授業は4年間の基礎となるもので、とっても大切です。サークル活動やアルバイトを頑張りすぎると、どうしても勉強のほうが一の次になってしまいがちですが、授業にはしっかりと出席し、遅刻・欠席のないよう頑張ってください。

ださい。1年生のうちに勉強することを習慣づけると、卒業まで比較的スムーズにいけるようです。

また、初めて一人暮らしを始める人もいますでしょう。食事は元気の素ですから、しっかり食べてください。もし、困ったことがあったら身近な先生に尋ねたり、学生相談室などで相談してください！

英語ができる！第1歩のすすめ

西尾由里（企画実施部(総合英語 Level 3)）

英語ができるようになりたい！と思っているみなさん！残念ながら思っているだけでは英語は出来るようになりません。英語ができる第1歩は、まずは、毎回の英語の授業を大切に、その授業での目標を立てて実行してみましょう。次には、1カ月後など短期の目標、最終的にはTOEIC 800点をを目指すなどの長期の目標設定をしてみましょう。レベル3の授業では、National Geographicの映像を使い、Authenticな英語をテキストやCD-Romを使って、300語のエッセイを書き、プレゼンテーションできる力を養成します。きっと皆さんの目標にかなった英語力が身に着くことでしょう。入試の英語から離れて、やっと自由に楽しみながら英語が学習できる環境を手に入れたのです。さらなる英語熟達者になろうではありませんか。

自分の将来を見つける場所、茨城大学へようこそ！

有田由紀子（企画実施部(総合英語 Level 2)）

新入生の皆さん、茨城大学へようこそ！皆さんが受講する総合英語では、様々なアクティビティを通して英語の4技能を身につける授業を展開しています。英語が得意な学生さんも苦手だった学生さんも、英語での活動を楽しんでみましょう。茨城大学には他にも様々な興味深い教科や活動があります。興味のあること、面白そうなことをどんどん学び自分の糧にしてください。茨城大学での学生生活が皆さんの将来に無限の可能性をもたらすことは間違いありません。様々なことにチャレンジして自分が将来やりたい事を見つけてください。Do your best and you can achieve everything！

英語多読のすすめ

上田敦子（企画実施部(総合英語 Level 1)）

茨城大学にご入学おめでとうございます。茨城大学では、総合英語で入学者全員の英語力アップを目指していますが、それ以外にも英語に触れ続けることのできる環境があります。まずは、ぜひ図書館に足を運んでみてください。英語多読用図書のコナーに行き、その品揃えの多彩さを感じてください。1ページ1行程度の気楽に読める英語の絵本から、青少年向けのペーパーバック、ぶ厚いHarry Potterのような本まで、「日常の楽しみとして英語と触れ合う」チャンスを作れる本が揃っています。CD

つきのものもたくさんあります。通学時やふと空いた時間に、洋書を開く・英語を聴く習慣を、自分のものにしませんか

学びの原点

吉田宏二（企画実施部(物理)）

みなさん、ご入学おめでとうございます。

「大切なことは、何も疑問を持たない状態に、陥らないようにすることである。私の成功の秘訣がひとつだけあるとすれば、ずっと子供の心のままでいたことです。」

これは、20世紀最大の物理学者アインシュタインの言葉です。大学では、自ら学ぶ姿勢が問われます。そしてその学びの原点は、疑問を持つことなのです。1つの疑問を解決した後には、新たな疑問が現れるはず。これが学びへの新たな活力になるのです。始まりは些細な疑問で結構です。もし解決できなければ、教員にぶつけて下さい。一緒に楽しく学びましょう！！

“強制的？”読書のススメ

梅原守道（教育点検支援部(数学)）

ご入学おめでとうございます。

さて、皆さんは今までどれくらい本を読んできましたか？かくいう自分は（恥ずかしながら）中高時代にはほとんど読まず、大学に入ってから「大学生たるもの本を読むものだ！」と希望（野望？）に燃え、たくさん本を手にとりました。でも、有名な文学作品など読むではみるものちっとも面白くなく、ただ「これは読んだ」という肩書き(?)が欲しくて辛くても読み続けていたのを憶えています。そんな読書は本来じゃない！と思われるかもしれませんが。でも今になって、書棚でほこりをかぶっている当時の本たちを見ると、なんだかとても懐かしく、もういどじっくり読んでみたい気持ちで楽しみになってきます。みなさんも、こんな読書はいかがですか？

新入生のみなさんへ

宇野美由紀（教育点検支援部(情報)）

春になると学生さんの気分も新たになるのか、見ているこちらも若返る気がします。大学生活の四年間は長いようで短くもあり、また、短いようで長くもあります。学生時代というものは、概してお金はあまりないけれど時間がたくさんあります。やってみたいことや好きなことを適度に試してください。私自身についていえば、学生時代はあまり活動的ではなく、適度に読書をしたり、写真を撮ったり、勉強をしたりしていました。テレビなどでたまに見ますが、自転車で日本横断などということも学生時代なら夏休みに可能ですね。長期の旅行も社会人になると難しいので、学生時代にしておくといい思い出となるでしょう。

水戸キャンパス便利帖

2010.4

3 IT基盤センター

理学部 S棟 の1~2Fにセンターの施設があります。
1Fにはマルチメディア第1教室, 2Fにはマルチメディア第2教室, 端末室, サイバーメディア演習室, 事務室などがあります。

平日 8:30~18:00

2 共通教育棟2号館

多くの教養科目の講義が行われます。

1F	共通10~15番教室 (14番はCALL教室)	授業時間 第1講時 8:50~10:20 第2講時 10:30~12:00
2F	21~27番教室	第3講時 13:00~14:30
3F	30~37番教室	第4講時 14:40~16:10
4F	41~47番教室	第5講時 16:20~17:50

1 共通教育棟1号館(東棟)

大学教育センターや学生センター(学務部), 講義室(3F)などがあります。

⑦学生生活課

課外活動・奨学援助・学生寮・授業料免除等に関する窓口

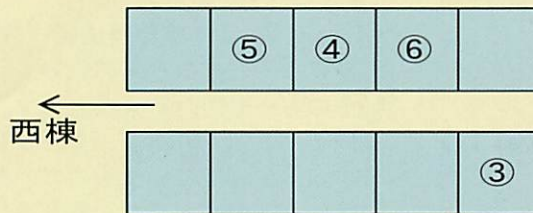
⑧学生就職支援センター

各種就職説明会を開きます。また求人票の情報の検索ができる。

⑥履修相談室

履修に関する質問や相談を受けています。(利用の際は学務課まで)

工・農学部教員控室(西棟)にいらしたとき使用します。



共通教育棟1号館(東棟)

⑤茨大なんでも相談室

いろいろな困りごとや悩みごとについて自主的な解決を援助するため, 学生相談体制を設けています。
平日 9:30~17:00

④理系質問室(予定)

理系科目に関する質問を受けています。
平日 12:00~13:30
時間と場所が変更になるかもしれません。掲示を確認してください。

③非常勤講師控室

非常勤講師の控室での非常勤講師が担当義がたくさんあります。





4 茨苑会館
1階に談話室及びレストラン&ベーカリーが設置されています。
レストラン&ベーカリー「SHIEN」
レストラン 平日 11:00～14:00 ベーカリー 平日 11:00～17:00

5 保健管理センター
定期健康診断や健康に関わる各種相談、
応急処置等の業務を行います。
平日 8:30～17:15

6 図書館
蔵書は10万冊、共同学習室を備え、夜遅くまで利用可能
休日でも開館しています！
平日8:30～21:45 土日11:00～19:00

7 福利センター
福利センター内では、茨城大学生生活協同組合が次の事業を行っています。

(1F)	(2F)
食堂	グリル・カフェ
平日10:00～19:20, 土曜11:00～13:30	平日10:00～16:20, 土曜閉店
コンビニ	書籍部
平日10:00～17:40, 土曜10:00～14:00	平日10:00～17:40, 土曜10:00～14:00
サービスショップ	理容室
平日10:00～17:00, 土曜10:00～14:00	営業時間 平日9:30～16:30, 土曜閉店

パソコン室利用案内

- 1** 総合科学棟S棟 1F
マルチメディア教室1 80台
月～金 08:30-18:00 授業のないとき
- 2** 総合科学棟S棟 2F
マルチメディア教室2 75台
月～金 08:30-18:00 授業のないとき
- 3** 総合科学棟S棟 2F
センター端末室 30台
月～金 08:30-18:00
- 4** 理学部B棟 1F
英語学習室 60台
月～金 08:30-18:00 授業のないとき
- 5** 総合研究棟K棟 1F
情報スペース 12台
月～金 08:50-18:00 授業のないとき
- 6** 理学部C棟 1F*
学生自習室 35台
月～金 08:30-17:30
- 7** 共通教育棟1号館 1F
CALL教室 62台
月～木 13:00-17:50 (ヘッドホン有)
- 8** 共通教育棟1号館1F
学生情報室 32台
月～金 08:30-18:30
- 9** 図書館 2F*
図書館 48台
月～金 08:30-21:45 土日 11:00-19:00

* 持込のノートパソコンによる無線LAN接続も可能
その他、各学部が開放しているパソコン室もあります。

ター
開催したり、就職相談も行って
開示やインターネットによる求人
ようになっていきます。

2F 留学交流課
留学支援・奨学金・留学情報・国際交流館に
関する窓口
英語多読室(西棟) 近日オープン予定

3F 第1～4講義室

◎ 自動証明書発行機
(即時交付)

①学務課
教養科目の履修に関する窓口
各種証明書・学割発行に関する窓口(1年次生)
平日 8:30～18:00

②学生情報室
インターネットに接続可能なコンピュータが設置さ
れています。他にも学内でコンピュータが設置さ
れている教室がたくさんあります。(右参照)
平日 8:30～18:30

センター
玄関ホール
査係

です。学外
自する講

総合科目へようこそ

総合基礎教育専門部会

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

大学生活がそれまでの学校生活と大きく変わる点は、ひとつには自分の意思で自由に選んだり決めたりすることが圧倒的に多くなることです。授業についても然り、とくに教養教育の授業は、どれを履修するか、基本的には自分で選べます*。それは、自分で決めなければならないと言いかえることもできます。入学早々みなさんはまず、前期の授業に関して短期間でさっそくこの決断をしなければなりません。

総合科目とは

教養教育のなかでも、総合科目の授業はじつにバラエティに富んでいます。そこで、みなさんが授業を選ぶ際の手助けになるように、総合科目の授業について少し紹介しておきましょう。

総合科目は、複数の分野に関わる学際的テーマや特定地域の問題、時事的課題などを取りあげ、総合的にものごとをとらえ、主体的に判断する力を養うことを大きなねらいとしています。分野別教養科目や分野別基礎科目と違って、人文、社会、自然などの分野にはっきり分かれてはいません。約70ある授業は、取りあげるテーマに関わる分野に応じて、一応次の9つの系に分類されています。

物質・生命系科目	表現・言語系科目
認知・数理系科目	身体・行動系科目
環境・政策系科目	生活・福祉系科目
文明・技術系科目	社会・国際系科目
人間・文化系科目	

授業のかたち

同じ系に属する授業でも内容は多様であり、授業者も授業形態もさまざまです。

大部分の授業が行われる共通教育棟の教室の標準収容サイズは約90人です。150人、200人以上収容できる階段教室が使われる場合もあります。今年度は改築を記念して講堂でも1本開講されます。

授業を担当するのはおもに各学部先生ですが、なかには社会人や専門家（例えば企業人、アーティスト、スポーツ選手）、いくなればその道のプロが講師として教壇にたつ授業もあります。卒業後を意識したキャリア教育や、大学の枠をこえて社会の諸組織や地域との連携のもとに組まれた授業も、総合科目ならではのものです。

ところで、先生の話聞いてノートをとるばかりが授業ではありません。発言を求められたり、学生どうしでディスカッションをしたりする授業もあります。学外の施設を見学したり、ものを製作したり、大学の内外で学生自ら体験的な活動を行う授業もなかにはあります。



推奨授業にも選ばれた「障害者と社会」



製作中? 「ものづくりのすすめ」

*教室の収容人数を超えて履修希望者が集中した場合、抽選が行われます。



ときには先生たちとディスカッション 「サステナビリティ学入門」集中



特色ある集中講義

休業期間や土日などに開かれる集中講義では、通常の授業期間での週1回×15週という形では実施しにくい、集中だからこそできる特色ある授業が行われています。総合では複数の集中講義が開講されています。開講時期については事前に掲示が出ますので、見のがさないようにしましょう。

授業の選び方

総合科目の授業はそれぞれが個性的ですので、とる授業を実際に選ぶ場合、ここまでの話はじつはあまり役に立ちません。履修案内の授業科目一覧には、前述した9つの科目分類ごとに開講される授業題目が載っています。科目分類をひとつの目安として、気になった授業のシラバスを読んでみましょう。ただ、一見自分の専門や関心から遠そうな授業題目でも、シラバスを読んだら意外にも興味が湧いてくる場合があります。できれば一つ一つのシラバスに目を通してみてください。数ある総合科目の授業のなかから、きっとあなたがとりたい授業が見つかるでしょう

シラバスは、いくなれば学問、科学の世界への招待状、それをよく読むことが、充実した大学生活を送るための第一歩です。



みんなでサッカースタジアムへ 「アスリートの世界」集中



学生も車いすを体験 「ハンディキャップをもつ人と共に生きる社会」集中

お知らせ

本年度前期には総合科目「**茨城大学の学問を楽しもう**」が、1年次生を主対象として開講されます。自然、科学、環境、文化、歴史、食生活等をテーマに学長や副学長、各学部長らがオムニバス方式で講義を担当します。今回が初めての試みです。今日何が問題か、地域貢献も含め本学からいかなることが発信されているか等を習得し、学問への興味を高めると共に視野を広めることをめざします。

学生の声

総合科目を受講して

農学部生物生産学科 2年 佐藤 理子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

さて、今回は総合科目に重点を置いて、大学の授業についてお話させていただきます。ご存知かと思いますが、大学の授業は全て自分で組みます。とは言っても学部ごとに決まっている基礎科目、水戸で開講されている教養科目を皆履修するため、自分だけずば抜けて他と違う時間割にはなりません。取らなければならない最低単位数や取れる最高数もあるので授業のコマは同じ学部の人と大体同じになります。自分で決められるのは、その決まったコマでどんな内容の授業を取るからです。総合科目は

物質・生命系、認知・数理系、環境・政策系、文明・技術系、人間・文化系、
表現・言語系、身体・行動系、生活・福祉系、社会・国際系

と9つもの分野があります。その上、普通の講義型だけでなく授業によっては学外から先生を呼んだり、自分達が学外へ出かけたり、教わるというよりはひたすら本を読んだり等、様々な形式の授業があります。

私は前期に身体・行動系の授業をとり、集中講義で環境・政策系の授業を取りました。授業を受け、他の教養科目と違うなと感じた点は、その先生の関わっている学問がどのように社会と結び付いているのかを知れることです。決して深くはないけれど、広く、全体的な見方をするきっかけになると思います。私は広くいろいろな先生のお話を聞いてみたく、自分が全く知らない分野、自分の専攻していない学部の先生を選びました。私の取った授業が偶然そうただただかもしれませんが、より先生と学生がコミュニケーションをとりながら授業が進み、先生と仲良くなれて色々な話を聞ける機会が持てました。皆さんも是非様々な分野が揃う総合科目を利用して自分の知らなかった世界を開拓して行ってみてください。

以上お話ししたことは数ある意見の中の一つに過ぎません。履修登録や授業で悩んだ時は、周りの先輩や授業を担当して下さる先生にどんどん相談してみてください。きっといいアドバイスやいろんな考え方に出会えることでしょう。まだまだこれからの行動次第でなんとでもなる大学生活を存分に楽しんでください。

編集後記

- 大学では勉強（学問）が本分なのはもちろんですが、勉強以外のことに励むのもまた（勉強と同じくらい？）大事です。バイト、サークル、旅行、恋愛、お酒…（最後のひとはほどほどに！）。みなさんが、自身の既成概念が壊れるような新しい経験にたくさん恵まれることを祈ります。（梅原）
- 入学シーズンには桜が似合います。その桜も、夏の暑さ・冬の寒さに耐えてこそその美しさです。みなさんも受験を終え、今美しく咲いています。4年後にまた美しく咲くために、これからも日々の努力を惜しまないでください。（吉田）

発行日 平成22年4月／発行者 茨城大学 大学教育センター 水戸市文京2-1-1 029(228)8416(学務課教養教育係)